

令和元年6月21日現在

機関番号：12102

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：2016～2017

課題番号：16H06658

研究課題名（和文）イスラム文化に即した美術教育構築に向けた基盤形成

研究課題名（英文）A preliminary study for structuring art education on Islamic culture

研究代表者

箕輪 佳奈恵（Minowa, Kanae）

筑波大学・芸術系・特任助教

研究者番号：60784915

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,200,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、「美術教育を通したイスラムの実践」事例を、文献調査およびフィールドワークを通して広く収集し、それらとイスラムの教義とを対応させて構造化することによって、イスラム文化に即した美術教育構築のための基礎理論を生成することを目的としている。イスラム諸国における美術教育の包括的な把握、「美術教育を通したイスラムの実践」事例収集を見据えた予備調査、イスラム文化に即した美術教育の理論化、以上3つの取り組みにより、上記研究目的の達成を目指した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の成果が、ムスリムの子どもたちに適した美術教育の教材開発や授業実践の構想など、現実の教育現場での取り組みにつながると予想される。さらにそれは、イスラム圏の美術教育に向けた貢献にとどまらず、文化を尊重した教育モデルとして、多文化教育や教育開発など幅広い研究・実践分野に派生する可能性をもつという点において、学術的・社会的意義があると考えられる。

研究成果の概要（英文）：This study aims to construct a model of art education based on Islamic culture by structuring the relationship between Islamic dogma and some cases of 'practice of Islam through art education' that were collected in literature surveys and fieldwork. The aim is accomplished through three researches: comprehensive understanding of primary art education in Islamic countries, preliminary research for collecting cases of 'practice of Islam through art education', and model structuring of art education on Islamic culture.

研究分野：教科教育

キーワード：美術教育 イスラム 芸術学 地域研究 フィールドワーク 南アジア 中東 多文化

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

イスラム世界(多文化圏含む)を舞台とする、イスラムと美術教育とを関連付けた従来の研究は、イスラムにおける「美術表現の制約」、特に「人物・動物表現への忌避」という観点から論じられたものがその大半を占めている。それらは、ムスリムに対する美術教育は何らかの配慮が必要であるという消極的な結論にとどまっており、彼らに適した美術教育はどのようなものかといった建設的な議論へと発展することがなかった。

実際にはムスリムの信仰心や価値観も多様なので、全員が「人物・動物表現」を避けるわけではない。よってヒックマンが主張するように、そのようなムスリムの中の多様性も理解・尊重しなければならない(Hickman, 1999)。しかし、「人物・動物表現」の問題だけでなく、自己表現という個人を中心とした思想自体がイスラムの理念に反するといった立場も根強くある(EI-Bassiouny, 1984)にもかかわらず、実際の指導の場面において具体的にどのように対応すべきかといった現実的な方策はこれまで出されてはこなかった。

このような状況を打開し、ムスリムの子どもたちに適した美術教育を構想するには、「配慮する」だけでなく、イスラムを深く理解した上で積極的に働きかける手立てを示すことが必要である。それは、今や世界人口の約4分の1を数えるムスリム、そしてその子どもたちのよりよい教育の機会を提供するための、喫緊の課題であると考えられる。

2. 研究の目的

研究代表者は、ムスリムの教師たちが、イスラムの慣習・価値観に基づいて、一見非宗教的に思える事象・事物の中にイスラムとの関係を独自に見出し、それらと美術教育を結びつけることで教育実践に価値を与えるという、隠然たる教育理念を抱いている実態をこれまでの研究で明らかにしている。これを「美術教育を通したイスラムの実践」と独自に定義し、イスラム文化に即した美術教育の基盤を形成するための指針と位置付けた。

本研究では、「美術教育を通したイスラムの実践」事例を、文献調査およびフィールドワークを通して広く収集し、それらとイスラムの教義とを対応させて構造化することによって、イスラム文化に即した美術教育構築のための基礎理論を生成することを目的とする。

3. 研究の方法

- (1) 文献調査によるイスラム諸国における美術教育の包括的把握と宗教的要素の抽出
- (2) フィールドワークによる「美術教育を通したイスラムの実践」事例の収集
- (3) イスラム文化に即した美術教育を構築する理論的枠組みの生成

4. 研究成果

- (1) イスラム諸国における美術教育の包括的把握

イスラム諸国における美術教育の有無やその大まかな特色などを、各国の宗教的背景や教育制度一般などと重ね合わせて世界規模で整理した。その結果、多くのイスラム諸国において美術教育に相当する科目が存在すること、また、それらは特に宗教に基づく表現(例えば、モスクの装飾にみられるアラベスクに象徴される、いわゆるイスラム美術など)を重視したものであること、その一方で、人物や動物の具象的な表現を避けるといった、イスラム社会において一般的に見られる傾向が、学校教育における美術においても現れていること、以上の3点が広範囲で共通していることが明らかとなった。

- (2) エジプト・アラブ共和国における美術教育の調査

文献調査

フィールドワークの新たな対象地として計画している、エジプト・アラブ共和国における美術教育について、文献調査を進めた。エジプト教育省が作成しているカリキュラムや教師向けのガイドブック、その他先行研究や歴史的資料を通して、エジプトの美術教育も他のイスラム諸国同様、特別に宗教を強調しているわけではないことが明らかとなった。

予備調査(フィールドワーク)

今後の本格的なフィールドワーク実施を見据えて、予備調査として首都カイロ市内の小学校を訪問した。美術の授業見学および美術担当教師への簡易的なインタビューを行い、エジプトにおける美術教育とイスラムとの関係性について調査した(2017年11月)。

教師の話から、まず「人物・動物表現」の扱いについては、イスラムにおいて特に禁忌とされやすい立体的な人間の像(彫刻など)の制作は授業の中では行わないとの回答を得た。一方で、美術を子どもたちに教える上で、神によって世界が美しく創造されたことを意識させるなど、他国の調査でも聞かれた「美術教育を通したイスラムの実践」事例との共通点も見出された。

- (3) イスラム文化に即した美術教育の基礎理論構築

上述のエジプト、そしてエジプトに先行して行ったモルディブおよび英国でのフィールドワークで得られたデータを合わせて、「美術教育を通したイスラムの実践」の理論的な解明を目指した。本科研においては、「美術科授業」「イスラムの実践」「宗教的根拠」の関係性を暫定的に

構造化する作業まで取り組んだ。

今後は、本科研に続いて採択された若手研究において、データをさらに充実させ、イスラムと美術教育との関係性を体系的に明らかにするとともに、「美術教育を通じたイスラムの実践」の理論化を進めたい。

引用文献

- Richard Hickman, "Representational art and Islam: the case for further investigation", *Beyond multicultural art education: International perspectives*, Berlin: Waxmann, 1999, pp.289-301
Mahmoud El-Bassiouny, *Art Education: West to Middle East*, Cairo: Dar Al Maaref, 1984

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 6 件)

- 箕輪佳奈恵、モルディブ共和国における美術文化の新潮流 : 「伝統」と「現代」の境界を越えた再定位の試みとして、美術教育学研究、査読有、51号、2019、pp.321-328
箕輪佳奈恵、開発途上国における近代的美術教育の導入-モルディブの1984年ナショナルカリキュラムをめぐる教育現場の対応-、美術教育学、査読有、39号、2018、pp.315-328
箕輪佳奈恵、開発途上国における草創期の美術教育-モルディブ共和国の1984年ナショナルカリキュラムをもとに-、美術教育学、査読有、38号、2017、pp.441-453
箕輪佳奈恵、イスラム諸国における初等美術教育の包括的把握、美術教育学研究、査読有、49号、2017、pp.385-392
箕輪佳奈恵、モルディブ共和国の初等美術教育、教育美術、査読無、889号、2016、pp.50-53
Kanae Minowa, Restriction and Freedom: Reconsidering Figural Representation in Islam, *Tsukuba Global Science Week 2016 Art & Design Session Proceedings*, non-peer reviewed, 2016, pp.53-56

〔学会発表〕(計 4 件)

- 箕輪佳奈恵、美術文化を応用した表現活動実践モデル構築に向けた試み、美術科教育学会、2019
Kanae Minowa, Structuring the Relationship between Art Education and Islamic Faith, 35th World Congress of International Society for Education through Art (Daegu, Korea), 2017
箕輪佳奈恵、イスラムから美術教育をみるということ、美術科教育学会、2017
Kanae Minowa, Restriction and Freedom: Reconsidering Figural Representation in Islam, *Tsukuba Global Science Week 2016*, 2016

〔図書〕(計 1 件)

- 箕輪佳奈恵、学術研究出版、アートエデュケーション思考、2016、422(344-351)

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年：
国内外の別：

取得状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

なし

6. 研究組織

(1) 研究分担者

研究分担者氏名： なし

ローマ字氏名：

所属研究機関名：

部局名：

職名：

研究者番号（8桁）：

(2) 研究協力者

研究協力者氏名： なし

ローマ字氏名：

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。